

## SNS利用

3年3組21番 田中野乃花

## 1. はじめに

近年、携帯電話の普及によってSNSを利用することが年齢を問わず一般的になってきている。特に若年層の間ではSNSの誤った使い方によって引き起こされた問題が様々なアプリで沢山見受けられるようになった。「昔と比較して、現在では小学校の低学年から携帯電話を持ち始めている人が増えてきた」という2024年度のモバイル社会研究所による記事を見かけて、大人と違い、幼い子供が携帯電話を持つことは危険性があるのではないかという疑問を抱き、SNS利用を探究することにした。特に若年層(Z世代)の間では、私も様々なアプリを使用していてSNS利用によって起こったトラブルを多く見かけるようになった。そこで、SNSのトラブルの要因となるものが何があるかを突き止めることと、SNSの誤った利用を防ぐためにできることは何があるのかと考えることにした。

## 2. 序論

携帯電話を持つ年齢は年々低年齢化しており、令和5年度の総務省の調査で6~12歳で自分の携帯電話を持っている割合は42.6%にのぼり、そのうちのSNSを利用しているのは41.8%となっている。早い段階で両親が子供に携帯電話を与える理由としては、保護者との連絡・安全面への配慮・家族間でコミュニケーションが増えることが期待されること・子供同士のコミュニケーションが円滑になること・学習に役立つ事・情報リテラシーを高めることができるなどの調査結果が挙げられるが、その一方では、視力が低下する・SNSの過度の使用で寝不足の原因になる・勉強に支障が出る・いじめの要因になる等が調査により判明したが、これからもますます電子機器が高度化する事が期待され、子供が安全に正しくSNSを利用してほしいと思う。

## 3. 本論

高校生を対象に【SNSの利用】の設置にあたり、現状を把握するために高校生を対象にして、以下のアンケートをとった。SNSを使っていて他者のトラブルを見たことがありますか？という質問に対して67.8%があると回答した。近年で問題視されているインターネットトラブル事例がある。単なる悪気がなく冗談で根拠のない悪口や誹謗中傷を書き込んだり、その時の感情に参ってしまい有名人へ誹謗中傷をして炎上、名誉毀損、侮辱罪、損害賠償、高額な慰謝料など訴えられるケースが近頃見受けられるようになったように思える。自らがそのような投稿をしていなくても再投稿(共感したり気に入った情報をそのまま投稿して他人に広かくめる行為)などをした場合でも同じように処罰されることもある。脅迫めいた書き込みも自宅に警官が来て犯罪となってしまう場合もある。簡単に何にでも書き込めるSNSであるが、匿名でもいつどこからその書き込みがされたのか、その投稿者の身元の特定は可能である。善悪がつかないほどの精神状態に陥っているのなら1度SNSから離れてみる事がこのケースを未然に防ぐことができるし、誰もがSNS投稿する場合には自分の発言に責任を持ち利用していかなければならないのだ。SNSは思った事を気軽に投稿したり、共感して見知らぬ他人とコミュニケーションの輪を広げられる利点もあるが、他人への誹謗中傷、無責任な噂、個人のプ

プライバシー情報を広げてしまう恐れがあり、普段通りの生活と同じようにルールやモラルを守りSNSの利用をすることが大事である。

【SNSの利用でトラブルになった事がありますか?】という調査では、82.5%という結果になり、その調査結果で多くを占めたものはLINEでのトラブルであった。調査結果から、会話の流れが速く、些細な事でも誤解や感情の行き違いが発生しやすいLINEのグループトークで勘違いされやすい言葉の例では、「いいよ/大丈夫」→OKとNOのどちらのことか、はっきりと分からない。「ヤバい」→いい意味か悪い意味なのかどっちなのか判別できない。「そっか」→軽い返事のため聞き手は冷たく感じ取る場合がある。「○○じゃない」→聞き返すようにしたつもりが、否定の意味で伝わったことがあった。などの回答があった。誤解を与えないようにするために記号、絵文字、顔文字などを上手く使用すること、送る前に1度送信前のメッセージを見直す事を習慣にし、電話したりすることも文字のみのコミュニケーションでのトラブル防止が可能になる。

#### 4. 結論

結論として、最近ではSNSトラブルは文字のみのコミュニケーションが原因であることが多発している。YouTubeやInstagramやX(旧Twitter)での度が過ぎた書き込みとグループトークによるトラブルも、たった数文字に渡る文字で相手を追い詰めて傷つけて、最悪な結果としては自殺に導くことがある。不特定多数の大勢の人が、根拠のない噂を広めて、他人を傷つけて、その人の精神状態を壊してしまうことが今までに存在した。もし、デマの情報で世界中の人達から叩かれ、人生を壊された人が居たら、その人への名誉毀損として罪に問われる。そうしたら、最終的に被害者も加害者もお互いに苦しめられることになるのです。送信前に1度、送信前のメッセージを見返して、誰かが傷つく表現を含むメッセージを送ろうとしていないかを確認して、トラブルを防ぐことができます。今までに自分が他者に加害した事がある人や、SNSを使い始めた人なども多くの人が以上の事を頭の片隅に入れて、正しくSNSを利用して欲しいと思います。

#### 5. 参考文献

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/) 著者 総務省 2024年度版  
閲覧日 9月27日